病棟における看護のインフォームド・コンセントの現状を探る

Status of Inpatients' Informed-Concent about Nursing

東5階病棟:島田真理子

〈要旨〉

近年, 医療の現場では医師だけでなく, 看護師も患者に対するインフォームド・コンセントが求められている。個々の患者に合わせて一つ一つのケアについて十分に説明をし, 患者が納得した上でケアを実施する必要がある。しかし, 患者の性別や年齢, 疾病, 入院経験など様々な因子によって患者の欲求の程度は異なり, 看護師においても認識に差がみらることから, 両者には「ずれ」が生じていることがわかった。実際に, 患者は看護のインフォームド・コンセントを求めており, 看護師がそれに答えることで患者の満足度も上がると考えられる。看護師の認識を高めるための現任教育も必要と考える。

(キーワード)

インフォームド・コンセント 満足度 教育

I. はじめに

近年、医療の現場ではインフォームド・コンセントという言葉が日常的に使われるようになってきた。Inform というのは「伝える、報告する」ということである。Consent は「ともに感じる」=「同意」という意味である。「伝えられて同意すること」、「説明と同意」と意訳されるが、I. C. (インフォームド・コンセント) とそのままで使われることが多くなっている。これは「患者自身が聞いて納得する」ということが含まれており、形だけ説明して患者が用紙にサインするのはインフォームド・コンセントではないい。1997年の医療法改正においては、医療法1条の4第2項に「医師、歯科医師、薬剤師、看護婦その他医療行為の担い手は、医療を提供するにあたり、適切な説明を行い、医療を受ける側の理解を得るように努めなければならない」との規定が新設されており、看護師も患者に対してのインフォームド・コンセントが求められるようになってきている。

当院では、インフォームド・コンセントの一つとして1999年7月より診療情報の開示を始め、看護部でも「看護計画・記録はベッドサイドで患者とともに」の充実を図ってきた。現任教育で2年目研修の中にも一患者とともに看護計画を立案し、評価する一ことを組みこんでいる。患者が看護計画に参加することで、患者がより主体的に健康問題や治療に取り組むことができると考えられている。

しかし、はたしてこの方法を続けていけばきちんとインフォームド・コンセントを行っていることになるのだろうか。長い日々を病棟で過ごす患者にとって看護師との関わりの場面は非常に多い。荷物を抱えて病棟に足を踏み入れ、看護師に声をかけた時から病棟の看護師とのつながりは始まっている。ベッドへの案内、入院オリエンテーション、検査の説明、清拭や食事介助等々数え上げればきりがない。その一つ一つの看護の場面でインフォームド・コンセントは必要となるはずである。我々が働く場面の中で、実際に看護師は患者に十分に説明し、同意を得てケアを行なっているのだ

ろうか。そして患者はそれをどう受けとめているのか。

看護師が実際に行っていると考えているケアと、それを受け止める患者のケアに対する意識の差を探るとともに、看護のインフォームド・コンセントが患者の満足度に与える影響を知るために今回の研究に取り組んだ。

Ⅱ. 研究方法

- 1. 対 象: 1) S大学医学部附属病院の内科系病棟、A・B・Cの3病棟に入院中の患者
 - (1) 入院後1週間以上経過した患者
 - (2) 意識清明で回答できる能力があると判断された患者
 - 2) 上記病棟に勤務している看護師全員 A病棟20名、B病棟21名、C病棟23名の計64名
- 2. 調査期間: 平成13年7月16日~7月22日
- 3. 調査方法: 質問紙を自己作成し(表1参照), アンケート調査を行った。

回答は無記名とし、「どちらともいえない」(3)の中間点を伏せた5段階評価とした。

- 1) A・B・C各病棟の婦長の協力を得て、入院中の患者とその病棟で働く看護師に質問紙を配布。
- 2) 患者の回答は用意した回収箱に入れてもらうか、差し支えなければ看護師に 手渡してもらった。
- 3) 看護師の回答は用意した回収箱あるいは袋に入れてもらった。
- 4. 分析内容: 1) 患者に対して
 - (1) 看護師がケアをする際にきちんと説明しているか、それについて納得できているか、満足しているかなど総論的な質問と看護の代表的なケア、「清拭」・「排泄の援助」について具体的に質問し比較する。
 - (2) 病棟間での差はあるか
 - (3) 個人の属性による違いはあるか。
 - 2) 看護師に対して
 - (1) 1) の(1)で患者にしたものと同じ質問をする。
 - (2) 病棟間での差はあるか。
 - (3) 個人の属性による違いはあるか。
 - 3) 1) 2) を比較して看護師の意識と患者の受け止めかたに違いがあるかどうかを探る。
 - 4) 検定は X2乗検定を行った。

Ⅲ. 結果

1. 患者へのアンケートより

A病棟12名, B病棟13名, C病棟20名, 計45名の回答が得られた。

- 1) ~5) 表 2, グラフ1参照
- 1) 問1.「あなたの看護を担当する看護婦は自己紹介をしていますか」では<u>平均値4.53</u>と比較的高い値を示しているが一部自己紹介なくケアを行なっている看護師がいることがわかる。
- 2) 問2.「あなたは担当の看護婦からどのような看護が受けられるのか説明を受けていますか」では<u>平均値4.12</u>となっているが、具体的なケアを挙げて、問10の「看護婦から身体を拭く前に目的や方法について説明あるいは相談されましたか」では<u>平均値3.83</u>とやや低くなり、問15の「看護婦は排尿や排便についてあなたの不快感や羞恥心を軽減するための方法をあなたと話し合いましたか。」では平均値2.94とさらに下がっている。
- 3) 2) のように、問10と問15での平均値は低かったが、その中で「十分説明された」「多少説明された」と「十分話し合った」「多少話し合った」と答えた患者は、次の問11. 問16. で「その説明は納得のいくものでしたか」の問いにそれぞれ平均値4.56, 4.71と高い評価をしている。このことは総論的質問の問3. 「説明の内容はあなたにとって納得のいくものですか」でも平均値4.61と高い評価となって現れている。
- 4) 問4.「担当の看護婦はあなたの意志を尊重していますか」は<u>平均値4.76</u>, 問5「あなたは看護婦から説明された通りの看護をきちんと受けることができていますか。」は<u>平均値4.73</u>とかなり高い評価を得ている。
- 5) 問6.「あなたは看護婦から看護の説明を受けることで満足感を得ることができましたか」では 平均値4.47, 問8.「あなたは今後看護婦から看護について十分な説明を受け、自分も納得ので きる看護が受けられることを希望しますか」では平均値4.71と高い値となっており、十分な説 明を受け、自分も納得のできる看護を受けられることが満足度を上げることを示しており、イ ンフォームド・コンセントへの期待が現れている。
- 6) 病棟間の比較をしてみると、A・B・C各病棟とも同じような傾向があった。A病棟では全体的に評価が低く、特に問15の「看護婦は排尿や排便についてあなたの不快感や羞恥心を軽減するための方法をあなたと話し合いましたか」では十分話し合った、多少話し合ったと答えた人が一人もいなかった。(表2,グラフ2)
- 7) 男女別の比較では、問1~問8の総論的な質問では男女差は無かったが、問10~問16「清拭」や「排泄の援助」の具体的なケアについての質問では女性の評価が低かった。(表3,グラフ3)
- 8) 年齢別の比較では59歳以下と60歳以上に分類した。問10, 問15において59歳以下の人の方が(平均値3.1, 2.57) 60歳以上の人(平均値4.39, 3.38) と比較して、「清拭」や「排泄の援助」について説明されてないと評価が低い。問10「看護婦に身体を拭く前に目的や方法について説明あるいは相談されましたか」ではP<0.05で有意差がみられた。その中で5.・4(説明された)と答えた人は問11, 問16で「その説明の内容に納得できる」(平均値4.5, 5) と評価が高い。(表4, グラフ4)
- 9) 入院経験別の比較では初回入院と2回目以上の入院とに分けた。問10~問16の「清拭」や「排 泄」の援助の具体的なケアに関して、2回目以上の患者の評価が低い。(表5,グラフ5)
- 10)入院期間別の比較では2週間未満と2週間以上に分けた。問2,「担当の看護婦からどのような 看護が受けられるのか説明を受けているか」と問6,「看護婦から看護の説明を受けることで満 足感を得ることができたか」, 問15,「排便や排尿についてあなたの不快感や羞恥心を軽減する

ための方法をあなたと話し合いましたか」の項目で2週間以上の患者の評価が低かった。(表6, グラフ6)

2. 看護師へのアンケートより

A病棟20名、B病棟21名、C病棟23名 計64名より回答を得た。回収率100%

- 1) 問1,「あなたは(看護)ケアを実施する際,患者に自己紹介していますか」は<u>全体の平均値</u>は4.13と比較的良いが,病棟間に平均値3.75~4.65と差がある。(表7,グラフ8)
- 2) 問3,「患者はあなたの説明に納得していると思いますか」では平均値3.98と他の問いと比較してやや低くなっている。(表7,グラフ7)
- 3) 問2,「あなたはケアを担当する患者に対して、どのようなケアを提供するのか(目的や方法など)きちんと説明していますか」では<u>平均値4.23</u>と比較的よいが問7,「あなたは清拭をする際、その目的や方法について患者様に説明していますか」は平均値<u>3.78</u>, 問10「あなたは排泄について問題のある患者さまにケアを実施する際、患者様の不快感や羞恥心を軽減するために患者様と話し合っていますか」は<u>平均値3.59</u>と具体的なケアについて聞くと低い値となってしまう。その中でA病棟はその差が大きく、C病棟は小さい。(表7)
- 4) 経験年数別の比較でははじめに全ての年代別に分けた。年代が上がるにつれて自己評価が高くなる傾向にある。ただし、「患者はその説明に納得していると思いますか」という3つの質問では婦長・副婦長の評価がわずかに低下している。(表8,グラフ9)
- 5) 次に経験の浅い3年目以下とプリセプターを経験する4年目以上に分けた。全体的にベテラン の看護師の自己評価が高い。(表9,グラフ10) 問10「排泄について問題のある患者と話し合っていますか」ではP < 0.005で有意差が認められた。
- 6) 出身校別の比較では4年制看護大学,3年制短大,看護学校に分けた。保健婦養成学校,助産婦養成学校など合計4名は除いた。全体的に看護学校出身者の自己評価が高く,4年制大学出身者の自己評価が低い。(表10,グラフ11) 問10「排泄について問題のある患者様と話し合っていますか」ではP<0.01で有意差が認められた。
- 7) 結婚の有無別の比較では、全体的に既婚者の自己評価が高い。(表11, グラフ12)
- 8) 子供の有無別では全体的に子供を持っている人の方がやや高い。(表12, グラフ13)

3. 患者と看護師の評価の比較

- 1) 問2「看護 (ケア) についての説明」については患者 (<u>平均値4.12</u>) ・看護師 (<u>平均値4.23</u>) でほぼ同じ評価をしているが,問3「患者が説明に納得しているか」については患者 (<u>平均値4.61</u>) の受け止めよりも看護師 (平均値3.98) の評価が低い。(表13, グラフ14)
- 2) 問 6「説明することで患者の満足度は上がるか」には患者 (<u>平均値4.47</u>)・看護師 (<u>平均値4.52</u>) ともに満足が得られると考えている。(表13, グラフ14)
- 3) 「清拭」や「排泄の援助」という具体的なケアについて説明したか、では患者・看護師ともに 評価が低くなるが、特に「排泄の援助」に関しては患者の平均値2.94、看護師の平均値3.59と

評価の開きが大きい。(表13, グラフ14) グラフ18, 19やグラフ20, 21をみると両者の意識の差がよくわかる。

- 4) 具体的なケアで「清拭」と「排泄の援助」について説明したあるいは説明されたと答えた人は、「その内容に納得できたか」の問8・11で看護師(平均値4.1, 3.98)よりも患者(平均値4.56, 4.71)の方がそれぞれ高い評価をしている。
- 5) 病棟間の比較をしてみると、A 病棟では間 2 「看護(ケア)についての説明」について看護師の平均値4.4に比較して患者の平均値53.5と低く他の病棟と比較すると逆転した状態になっている。(表14, グラフ15)
- 6) B病棟では他の病棟と比較して全体的に患者の評価が高い。(表15、グラフ16)
- 7) 実際に清拭を受けた患者は24名で53%であった。(表17) その中で清拭の目的について「患者がどのように説明されたか」と「看護婦がどのように説明したか」とを比較してみると患者は1位「感染予防」2位「爽快感」,看護師は1位「爽快感」2位「感染予防」となっており違いがみられる。(表20) 患者の状態により清拭の説明も異なってくるが、患者は感染予防と爽快感以外にはあまり認識がなく、特に清拭によって観察をされているという意識はないようである。
- 8) 入院中に排尿や排便で困った人は18名で40%であった。その中で「便秘になった」が12名で67% と一番多かったが、それぞれが色々悩みを抱えていた。

Ⅳ. 考察

現場において看護師はケアを提供する時、きちんと患者に説明をし、患者から同意を得た上でケアを行なうことができているのか。またそのことによって患者の満足度は上がっているのだろうか。 現状を知るために、患者と看護師に同じ内容の質問をして両者の認識の差を探ることにした。

まず、患者への質問において総論的な質問では男女差は無かったが、「清拭」「排泄」などの具体的なケアの質問になると女性の評価が低くなった。男性に比べて女性の方が説明や話し合いへの要求が高いようである。

年齢別にみると具体的なケアについて、若い人の評価が低いが、その中で「説明された」と答えた人は逆に「納得できる」と高い評価をしている。このことから若い人の方がインフォームド・コンセントに対する期待が高いと言えるのではないだろうか。

入院回数で比較してみると、具体的なケアについて2回目以上の患者の評価が低くなっている。 病気が長期化するに従って要求が高くなっていると考えられる。

入院期間で比較すると、入院2週間以上の患者が「担当の看護婦からどのような看護が受けられるのか説明を受けていますか」と「看護婦は排尿や排便についてあなたの不快感や羞恥心を軽減するための方法をあなたと話し合いましたか」の質問で低い評価をしており、説明の不足を指摘している。そのことが「看護婦から看護の説明を受けることで満足感を得ることができましたか」と満足度でも低い評価となって現れている。

A・B・Cの3病棟を比較してみると傾向は似ていたが、その評価の点数に差がみられた。特に A病棟は厳しい評価をされており、対応策が望まれる。 次に看護師への質問では.

経験年数で比較してみると、ほとんどの質問で経験年数が上がると自己評価も高くなっている。 経験年数の浅い3年目以下とプリセプターの役割を担う4年目以上で分けてみると全ての質問で4年目以上の評価が高い。インフォームド・コンセントについての認識は学生時代に授業の中で学ぶというよりも、現場で働き始めてからの経験や環境によるところが大きいと思われる。

出身校別にみると現時点では看護学校出身者の認識が高く、4年制大学出身者の認識が低い。しかし、出身校別の人数構成をみると4年制大学出身者は1年未満が4名、1~3年が3名、4~5年が1名と非常に若いため、このような結果になったと考えられる。今後このスタッフが経験を積むことで変化していく可能性がある。

A・B・Cの病棟間では看護師の認識に大きな違いは無かった。

看護師と患者の認識を比較してみると「説明しているか」「説明されたか」については受け止め 方はほぼ同じである。また、説明によって満足度が上がるという認識も同じである。しかし「清拭」 や「排泄の援助」といった具体的なケアを挙げて質問すると患者の評価が下がり、両者の認識に開 きが出てしまう。看護師が思っている以上に「説明された」とする患者はその説明の内容を理解し、 納得している。このことから患者は、もっと一つ一つの細かなケアについても十分な説明を受け、 自分も納得した上でケアを受けることへの期待が高いと考えられる。これは「あなたは今後看護婦 から看護について十分な説明を受け、自分も納得のできる看護が受けられることを希望しますか」 の問いの平均値4.75という高い数値にも表れている。

A・B・C病棟間でも特色がみられる。A病棟では問2「どのような看護が受けられるのか説明を受けているか」「説明しているか」で患者・看護師の評価に開きがみられ患者の評価が低くなっている。これは看護師の自己満足となっていることを表しているのではないだろうか。A病棟では排泄に関する問いについてかなり患者の評価が低い。原因として患者・看護師間のコミュニケーション不足があると考えられる。B病棟では全体的に看護師に比較して患者の評価が高く,迎合傾向にあると考えられる。グラフ3では女性の評価が低いことが示されているが,B病棟は13名中12名が男性であり,この結果に影響したと考えられる。C病棟では患者・看護師間で大きな意識の差はみられなかった。

看護師のインフォームド・コンセントに対する認識の差は病棟間ではあまり見られなかった。しかし、患者の受け止め方には様々な部分で看護師との差が認められた。看護師らがそれぞれの病棟において総体的に同じようなレベルで患者に接することができているとすると、両者の認識のずれは患者の背景に影響されるということになる。患者の疾患や性別、入院期間などによって、看護師への要求の程度が異なってくるのではないだろうか。

「個別性のある看護」と良く言われるが、看護のインフォームド・コンセントについても個々の 患者に合わせて行っていかなくてはならない。インフォームド・コンセントでは最終決定権は患者 の側にあり、個人の信条や価値観を最大限に尊重するものである。病棟に入院している全ての患者 一人一人の考えを尊重していくのは至難の技であるとも言えるが、できるだけその状態に近づける よう個々の看護師が考えながらケアを行わなければならない。 インフォームド・コンセントにはコミュニケーション能力が必要とされる。医療財政の厳しい中、これからの現場ではさらなる入院期間の短縮が要求され、我々看護師は短期間の入院の中で患者とコミュニケーションをとっていかなくてはならない。今回の研究で示されたように看護師がインフォームド・コンセントを十分意識するようになるにはある程度の経験が必要となる。毎年大勢の新人スタッフが入職してくる中で実践していくことは大変なことであり、入職後のOJT・OFF-JT両面での十分な教育が必要と思われる。

これまでの文献を読むと看護師が医師から患者へ行われる治療計画についてのインフォームド・コンセントを看護師の立場でフォローしていくというものが多かったが、今後は看護師自身も自らが行う一つ一つのケアについて十分な説明を行い、患者が納得した上でケアを行う看護のインフォームド・コンセントを認識し実践していかなくてはならないと考える。

Ⅵ. 結論

看護師は患者に十分説明しケアを行なっていると考えているが、実際に一つ一つのケアを挙げて みると実践されていないことが多く患者の認識とずれが生じている。

患者はケアについて十分に説明され、自分も納得した上でケアを受ける事を望んでおり、それが 実践されることによって患者の満足度も上がる。

患者の様々な因子によってインフォームド・コンセントへの認識が左右される。個々の患者の背景を考慮したインフォームド・コンセントが必要。

看護師がインフォームド・コンセントを十分に認識し、実践していくためにはOJT、OFF-JT両面での教育が必要である。

Ⅵ. 謝辞

今回の研究にご協力いただきましたS大学医学部附属病院の3病棟に入院中の皆様,病棟看護師の皆様,そして本研究を御指導いただきました松岡先生に感謝いたします。

引用文献・参考文献

- 1) 澤口祐二: I. C. (インフォームド・コンセント), ナーシングトゥデイ, 第13巻第13号, 15, 1998
- 2) 森田孝子:看護計画・記録は患者とともに、看護、52(7)、97-102、2000
- 3) 南裕子 他: 看護記録の開示に関するガイドライン, 第1版, 日本看護協会出版会, 2000
- 4) 勝村達喜, 泉本美代子, 林喜美子 他:ナースのためのインフォームド・コンセント, 初版, (株)廣川書店, 序文-24, 1995
- 5) 波多江伸子: 開かれた医療に近づくために、看護、46(11)、32-37、1994
- 6) 卯野木健: 看護技術の再構築、ナーシングトゥデイ、14 (14)、66-69、1999
- 7) 高柳和江: 医療の質と患者満足度調査, 第1版, 日総研出版, 63-77・121-127, 1995
- 8) アンJデイビス 他: 患者とともにつくる看護計画, ナーシングトゥデイ, 12 (2), 7-33, 1997
- 9) 藤田和夫 他:今年も新人がやってくる,ナーシングトゥディ、16(3),19-38,2001

10) 川島みどり 他: nursing today 看護技術の科学と検証 日常ケアの根拠を明らかにする, 第1版, 日本看護協会出版会, 79-83, 1996

l	患者対象		看護師対象
問1	あなたの看護を担当する看護婦は自己紹介をしていますか	問1	あなたは(看護)ケアを実施する際、患者様に自己紹介していますか
問2	あなたは担当の看護婦からどのような看護が受けられるのか説明	問2	あなたはケアを担当する患者様に対して、どのようなケアを提供する
<u> </u>	を受けていますか		のか(目的や方法など)きちんと説明していますか
問3	説明の内容はあなたにとって納得のいくものですか	問3	患者様はあなたの説明に納得していると思いますか
問4	担当の看護婦はあなたの意志を尊重していますか	問4	あなたはケアを実施する際、患者様の意思を尊重していますか
問5	あなたは看護婦から説明された通りの看護をきちんと受けることが	問5	あなたは患者様に説明したケアをきちんと実施していますか
	できていますか		
問6	あなたは看護婦から看護の説明を受けることで満足感を得ることが	問6	看護婦が患者様にきちんと説明し、同意を得てケアをすることで、患
	できましたか		者様の満足度は上がると思いますか
	あなたは看護婦から納得のいかない看護を受けたことがありますか		
	あなたは今後看護婦から看護について十分な説明を受け、自分も		
	納得のできる看護が受けられることを希望しますか		
	あなたは入院中に看護婦から身体を拭いてもらいましたか		
	看護婦から身体を拭く前に目的や方法について説明あるいは相談を	-	あなたは清拭をする際、その目的や方法について患者様に説明して
	されましたか		いますか
問11	問10で3・4とお答えの方にお聞きします。その説明の内容はあなた	問8	4・3とお答えの方にお聞きします。患者様はその説明に納得してい
	にとって納得のいくものでしたか		ると思いますか
	身体を拭く目的は何だと説明されましたか	問9	あなたは患者様に対して清拭の目的をどのように説明していますか
	あなたは入院中に排尿や排便で困った事はありましたか		
-	それはどのようなことでしたか		
問15	置護婦は排尿は排便についてあなたの不快感や羞恥心を軽減する	問10	あなたは排泄について問題のある患者様(便秘や下痢、尿カテを挿
1	ための方法をあなたと話し合いましたか		入しているなど)にケアを実施する際、患者様の不快感や羞恥心を
<u></u>			軽減するために患者様と話し合っていますか
問16	問15で4・3とお答えの方にお聞きします。その内容は納得のいくもの	問11	問10で4・3とお答えの方にお聞きします。患者様はその内容に納得
	でしたか		していると思いますか
問17	あなたご自身のことについてお伺いします。	問12	あなたご自身のことについてお聞かせください
	性別は		あなたの看護の経験年数は
2)	年齢は	2)	ご結婚されていますか
	入院回数は		お子さんはいらっしゃいますか
4)	今回入院してからどの位たちましたか	4).	あなたの最終学歴を教えてください

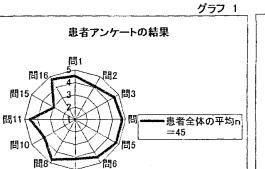
9

患者へのアンケート結果

病棟間の平均値の比較

=	•
-	•

the branches and a second market												
	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問10	問11	問15	問16
A病棟 n=12	4.083	3.5	4.364	4.583	4.583	4.333	4	4.583	3.667	4	1.8	
B病棟 n=13	4.692	4.5	4.75	4.846	4.846	4.538	4	4.75	3.818	4.875	3.6	5
C病棟 n=20	4.7	4.263	4.65	4.8	4.75	4.5	4.35	4.75	3.9	4.333	3.333	4.5
患者全体の平均n=4	4.533	4.116	4.605	4.756	4.733	4.467	4.156	4.705	3.833	4.563	2.938	4.714



病棟間の平均値の比較 PA病棟 n=

12

13

•B病棟 n=

-C病棟 n=

問2

問7

問3

問4

グ<u>ラフ 2</u>

男女別患者の平均値の比較 表	モク	
	χo	

カメが思わり下り	但リル	半又									扱い	
	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問10	問11	問15	問16
男性 n=25	4.56	4.125	4.522	4.68	4.8	4.4	4.04	4.68	4.067	4.818	3.5	4.833
女性 n=20	4.5	4.105	4.7	4.85	4.65	4.55	4.3	4.737	3.444	4	2	4

問11

年齢別患者の平均値の比較

問7

表4

	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問10	問11	問15	問16_
59歳以下 n=22	4.591	4.091	4.5	4.727	4.818	4.455	4.182	4.571	3.1	4.5	2.571	5
60歳以上 n=23	4.455	4.15	4.75	4.818	4.682	4.5	4.136	4.818	4.385	4.636	3.375	4.6

入院経験別患者の平均値の比較

表5

	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問10	問11	問15	問16
初回入院 n=17	4.471	4.176	4.647	4.765	4.706	4.529	4.118	4.706	4.6	4.8	3.625	4.8
2回目以上 n=28	4.571	4.077	4.577	4.75	4.75	4.429	4.179	4.704	3.632	4.455	2.25	4.5

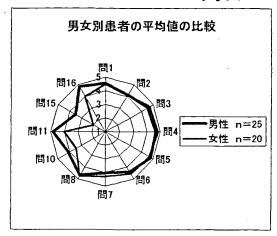
入院期間別患者の平均値の比較

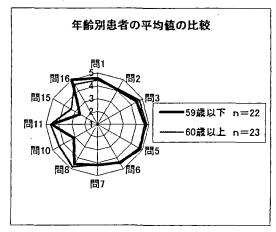
表6

	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問10	問11	問15	問16_
2週間未満 n=17	4.765	4.588	4.706	4.824	4.647	4.765	4.235	4.875	3.75	4.4	4.5	4.5
2週間以上 n=28	4.393	3.808	4.538	4.714	4.786	4.286	4.107	4.607	3.875	4.636	2.714	4.8

グラフ3

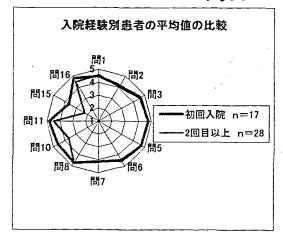
グラフ4

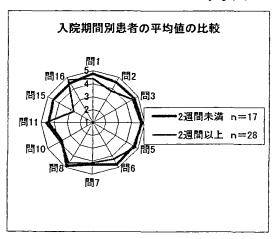




グラフ5

グラフ6





看護師へのアンケート結果

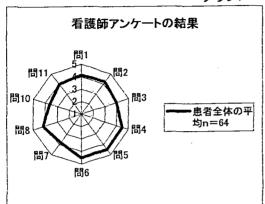
病棟間の平均値の比較

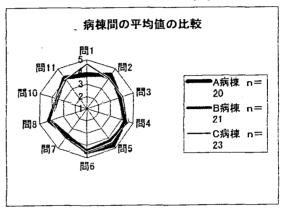
表7

	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問10	問11
A病棟 n=20	3.75	4.4	3.895	4.35	4.75	4.55	3.7	4.188	3.55	4.071
B病棟 n=21	3.905	4.286	3.952	4.571	4.238	4.429	3.667	4.063	3.619	4.067
C病棟 n=23	4.652	4.043	4.087	4.522	4.478	4.565	3.957	4.053	3.609	3.933
看護師全体の平均n=	4.125	4.234	3.984	4.484	4.484	4.516	3.781	4.098	3.594	3.979

グラフ7

グラフ8



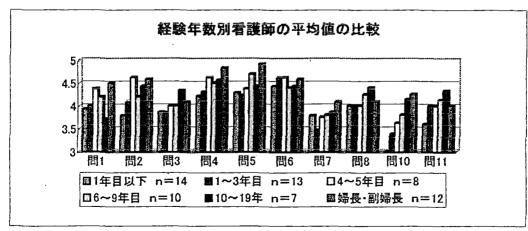


経験年数別看護師の平均値の比較

表8

12-01 301133 100-1										
	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問10	問11
1年目以下 n=14	3.929	3.786	3.857	4.214	4.286	4.429	3.786	4	2.786	3.6
1~3年目 n=13	4	4.077	3.846	4.308	4.231	4.615	3.462	4	3.385	4
4~5年目 n=8	4.375	4.625	4	4.625	4.375	4.625	3.75	4	3.625	4
6~9年目 n=10	4.2	4.2	4	4.5	4.7	4.4	3.8	4.25	3.8	4.125
10~19年 n=7	3.714	4.429	4.333	4.571	4.429	4.429	3.857	4.4	4.143	4.333
婦長·副婦長 n=12	4.5	4.583	4.083	4.833	4.917	4.583	4.083	4.091	4.25	4

グラフ9



3年目以下と4年目以		表9								
	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問10	問11
3年目以下 n=27	3.963	3.926	3.852	4.259	4.259	4.519	3.63	4	3.074	3.846
4年目以上 n=37	4.243	4.459	4.083	4.649	4.649	4.514	3.892	4.164	3.973	4.097

出身校別看護師の平均値の比較

表10

HI 21 IVII HICKLIA I	· · · J · · · · ·									24.0
	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問10	問11
看護学校 n=16	4.063	4.5	4.133	4.625	4.625	4.5	4	4.154	4.063	4.143
3年制短大 n=36	4.167	4.139	3.889	4.472	4.528	4.528	3.694	4.069	3.5	3.917
4年生大学 n=8	4.125	4	4	4.25	4	4.5	3.125	4	2.625	4

結婚の有無別看護師の平均値の比較

表11

_		107 1 2	グルロマノ	ルナス							1211
		問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問10	問11
	既婚者 n=9	3.667	4.778	4.333	4.667	4.778	4.556	4	4.286	- 3.778	4.14
I	未婚者 n=55	4.2	4.146	3.926	4.455	4.436	4.509	3.745	4.068	3.564	_ 4

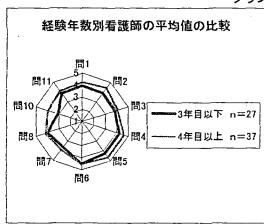
子供の有無別看護師の平均値の比較

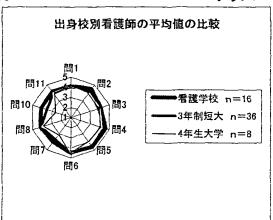
表12

	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7.	問8	問10	問11
子供あり n=4	4	5	4.5	4.75	5	4.75	4	5	3.5	4
子供なし n=5	3.4	4.6	4.2	4.6	4.6	4.4	4	4.25	4	4.25

グラフ10

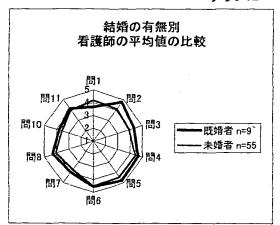
グラフ11

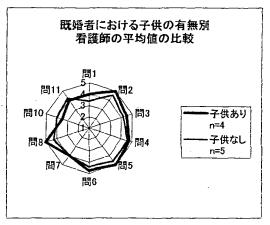




グラフ12

グラフ13





患者と看護師の平均の差

今体の比較

主12

<u>土体ひ此权</u>										<u> 400 (0</u>
	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問10	問11
看護師 n=64	4.125	4.234	3.984	4.484	4.484	4.516	3.781	4.098	3.594	3.979
患者 n=45	4.533	4.116	4.605	4.756	4.733	4.467	3.833	4.563	2.938	4.714

Δ病搏

表14

1/6	111							_				
			問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問10	問11
看記	蒦師_	n=2	3.75	4.4	3.89	4.35	4.75	4.55	3.7	4.188	3.55	4.071
患者	与 n=	=12	4.083	3.5	4.364	4.583	4.583	4.333	3.667	4	1.8	

B病棟

表15

	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問10	問11
看護師 n=2	3.905	4.286	3.952	4.571	4.238	4.429	3.667	4.063	3.619	4.067
患者 n=13	4.692	4.5	4.75	4.846	4.846	4.538	3.818	4.875	3.6	5

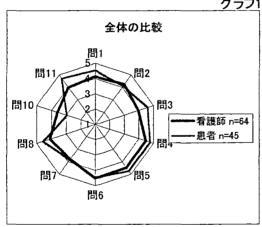
へ存抽

表16

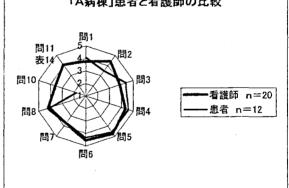
C PRI T	*							_			10
		問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問10	問11
看護的	π n=2	4.652	4.043	4.087	4.522	4.478	4.565	3.957	4.053	3.609	3.933
患者	n=20	4.7	4.263	4.65	4.8	4.75	4.5	3.9	4.333	3.333	4.5

グラフ14

グラフ15

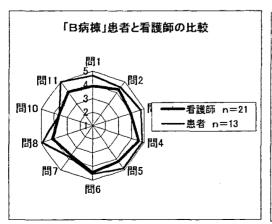


「A病棟」患者と看護師の比較



グラフ16

グラフ17



「C病棟」患者と看護師の比較 問11 問10 ・看護師 n=23 患者 n=20 問8 問6

患者アンケートより

看護婦アンケートより

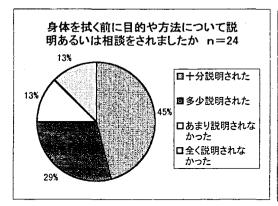
「あなたは入院中に看護婦から身体を拭いてもらいましたか」

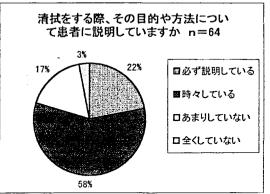
丰	1	7
⇗	1	•

		43.17
	人数	比率%
はい	24	53%
いいえ	21	47%

グラフ18

グラフ19





説明の内容はあなたにとって納得のいくものでした』患者はその説明に納得していると思いますか 表19

表18

人数 比率n=51 10% 十分納得している 5 多少納得している 46 90% あまり納得していない 0 0%

0

	人数	<u>比率n=</u> 1
十分納得できる	11	61%
多少納得できる	4	22%
あまり納得できない	1	6%
全くなっとくできない	0	0%
無回答	2	11%
全くなっとくできない	0 2	0' 11'

| 患者が看護婦から説明されたと答えた清拭の目的 看護婦が患者に説明していると答えた清拭の目的

一複数回答—

--複数回答--

全く納得していない

表20

0%

	人数	比率n=24		人数	比率n=51
感染予防	15	63%	感染予防	41	80%
爽快感	11	46%	爽快感	50	98%
血液循環の促進	. 6	25%	血液循環の促進	26	51%
全身の観察	0	0%	全身の観察	25	49%
廃用性萎縮の予防	1	4%	廃用性萎縮の予防	6	12%
疼痛の緩和(マッサージ効果)	0	0%	疼痛の緩和(マッサージ効果)	5	10%

「あなたは入院中に排尿や排便で困ったことはありましたか」

表21

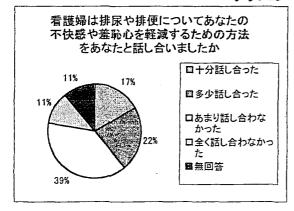
	人数	比率%
はい	18	40%
いいえ	27	60%

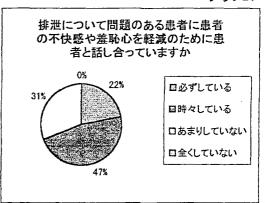
「それはどのようなことでしたか」

一複数回答一		表22_
	人数	比率%
便秘になった	12	67%
下痢になった	5	28%
尿の回数が多い	6	_33%
尿が出にくい	2	11%
ベッドの上で尿器・便器使用	2	11%
ポータブルトイレ使用	3	17%
尿の管を入れた	5	28%
おむつ使用	2	11%
下着やシーツを汚した	5	28%
看護婦が車椅子でトイレへ	2	11%

グラア20

グラフ21





「その内容は納得のいくものでしたか」

表23

	人数	比率n=7
十分納得できる_	_ 5	71%
多少納得できる	2	29%
あまり納得できない	0	0%
全く納得できない	0	O%

「患者はその内容に納得していると思いますか」

表24

	人数	比率n=44
十分納得している	3	7%
まあまあ納得している	40	91%
あまり納得していない	1	2%
全く納得していない	0	0%

「あなたは入院中に排尿や排便で困ったことはありましたか」

表21

	人数	比率%
はい	18	40%
いいえ	27	60%

「それはどのようなことでしたか」

おむつ使用

下着やシーツを汚した

看護婦が車椅子でトイレへ

一複数回答—

12,3XLII II		32
	人数	比率%_
便秘になった	12	67%
下痢になった_	5	28%
尿の回数が多い	6	33%
尿が出にくい	2	11%
ベッドの上で尿器・便器使用	2	11%
ポータブルトイレ使用	3	17%
尿の管を入れた	5	28%

グラフ20

5

2

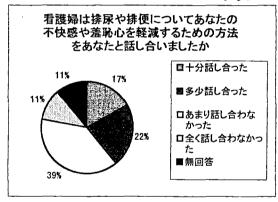
11%

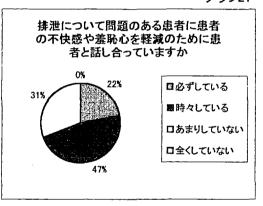
28%

11%

表22

グラフ21





「その内容は納得のいくものでしたか」 表23

	人数	比率n=7
十分納得できる	5	71%
多少納得できる	2	29%
あまり納得できない	0	0%
全く納得できない	0	0%

「患者はその内容に納得していると思いますか」

		_表24
	人数	比率n=44
十分納得している	3	7%
まあまあ納得している	40	91%
あまり納得していない	1	2%
全く納得していない	0	0%